学校番号	1009

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究（後）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「日本史探究」（実教出版）						
副教材等	「新詳日本史」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史は単なる暗記ではありません。年号や用語を「理解」しながら「体系的」に覚えていくことが大切です。常にどうしてこんなことが起きたのか、その結果どうなったのかを考えていく習慣を身に着けてください。まず教科書を読みこみ、授業をしっかり聞きましょう。歴史は深い学問ですから、それでもわからないところがたくさん出てくると思います。そういう疑問を仲間や教員と共有し、一緒に解決していきましょう。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

(1)　歴史的諸事象を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける【知識及び技能】

(2)　歴史的事象に関する諸問題について，多様な立場からの見方・考え方を理解したうえで，選択・判断の手掛かりとなる考え方や概念を活用し，史料に基づいて多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，史料を適切に用いて自らの考えを説明する力を身に着ける【思考力・判断力・表現力等】

(3)　歴史的諸課題についての多様な見方・考え方を公正に理解しようとする態度を培うとともに，よりよい社会の実現を視野に，日本社会における歴史的諸事象に関心を持ち，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める【学びに向かう力・人間性等】

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の中世・近世の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境や生産関係と関連付けて総合的に理解している。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境や生産関係と関連付けて多面的・多角的に考察している。かつ多様な意見を理解し、根拠に基づいてその価値を判断する知性を育んでいる。また史料を適切に活用して考察を深めるとともに、それを表現することができる。	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を持ち、意欲的に探究している。また国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての意識を持ち、意欲的に学習している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	中世の国家・社会の変容	1 南北朝の動乱 2 室町幕府の政治と外交 東アジアのなかのアイヌ文化・琉球文化 3 室町社会の展開と応仁の乱 4 室町文化 5 戦国大名の分国経営	a: 武家政権の変容，日明貿易の展開と琉球王国の成立，村落や都市の自立，多様な文化の形成や融合などを基に，地域権力の成長，社会の変容と文化の特色を理解している。 b: 社会や経済の変化とその影響，東アジアの国際情勢の変化とその影響，地域の多様性，社会の変化と文化との関係などに着目して，主題を設定し，中世の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c: 中世の国家や社会の変容に関わる諸事象について，課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 発問評価	提出課題 授業態度 小テスト

2	東アジア世界の変容と天下統一	1 織豊政権 2 天下統一の完成 3 近世成立期の文化	a：織豊政権の政治・経済政策，貿易や対外関係などを基に，中世から近世への時代の転換を理解している。 b：村落や都市の支配の変化，アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して，中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現している。 c：織豊政権の成立前後からの歴史の展開に関わる諸事象について，課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 発問評価 定期考査 発問評価	提出課題 授業態度 小テスト
	幕藩体制の成立と展開	1 幕藩体制の成立 2 貿易の都政と対外関係 3 近世社会のしくみ 4 幕府政治の展開 5 経済の発展 6 元禄文化と学芸の発展	a：法や制度による支配秩序の形成と身分制，貿易の統制と対外関係，技術の向上と開発の進展，学問・文化の発展などを基に，幕藩体制の確立，産業の発達，近世の社会と文化の特色を理解している。 b：織豊政権との類似と相違，アジアの国際情勢の変化，交通・流通の発達，都市の発達と文化の担い手との関係，社会・経済の仕組みの変化，などに着目して，主題を設定し，近世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c：近世の国家・社会の展開に関わる諸事象について，課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 発問評価	提出課題 授業態度 小テス

3	近世の国家・社会の変容	1 幕藩体制の動揺と幕政の改革 2 欧米列強の接近と天保の改革	a: 産業の発達，飢饉や一揆の発生，幕府政治の動揺と諸藩の動向，学問・思想の展開，庶民の生活と文化などを基に，幕藩体制の変容，近世の庶民の生活と文化の特色，近代化の基盤の形成を理解している。 b: 社会・経済の仕組みの変化，幕府や諸藩の政策の変化，国際情勢の変化と影響，政治・経済と文化との関係などに着目して，主題を設定し，近世の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的 ・ 多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c: 近世の国家・社会の変容に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 発問評価	提出課題 授業態度 小テス

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度